

Abstract

非伝統的安全保障概念の再検討と資源安全保障

畠山 京子（関西外国語大学 准教授）

本稿では、非伝統的安全保障と伝統的安全保障（国家安全保障）はどのように関連しているのかという特集号の問題意識に基づき非伝統的安全保障概念の再検討を行った。2010年のレアアース供給遮断問題を事例に資源安全保障を国家の視点から論じた。軍事的な狭義の安全保障から広義の安全保障まで多岐にわたる「安全保障」が国際社会で存在するのは、安全保障が「価値」を守ることだからである。海賊や環境などの非伝統的安全保障分野では新たな価値創造のために「安全保障化」が行われることに鑑みると、同分野の分析では、誰がどの手段で何を守るのかという視座は重要であろう。レアアースの事例では、脅威認識とサプライチェーンを分析枠組みとして採用し、レアアースの供給遮断は、産業の優位性までに価値を広げれば安全保障問題ではあるが、国家や国民の生存にかかわる安全保障問題というよりはリスクの問題であると論じた。

『国際安全保障』第45巻第3号（2017年12月）1-17ページ。